

橘定スポーツ BaseBall

課題や目標を伝え合い実戦に

互いにプレーの意図や成長を共有し合えることは大切…

皆の野球に
取り組む姿勢を
応援し支えてくれる人は
たくさんいる…

クラス 212 020 075 0 19
橘 定 002 112 500 0 17

深い左中間のフェンスまであと少しという
特大のタイムリー2ベースヒットが
チームを勢いづける

吉田侑生(2年)

令和5年11月11日(土) 市営大師球場

橘定野球部

- 1 間瀬智 ⑧
- 2 袴田羽 ⑨
- 3 吉田侑生 (OB) ③
- 4 大野井 (OB) ⑦
- 5 平部活 (OB) ⑥
- 6 田中先生 ②
- 7 林先生 (顧問) ④
- 8 田中先生 (顧問) ④
- 9 吉田先生 (顧問) ④

11日土曜日の練習試合は、体調不良と怪我で参加できない部員がいたため、現役部員は三名だった。一週間の試合も減益は五名。現在部員は六名でもともと練習試合を行える状況ではない中、それでも練習試合ができるのには大きく二つの理由があり、部員がそのことを理解してプレーしていることも伝わってくる。

定通制野球の練習試合の相手はなかなかいない。それでも、ここ五年間は、年間二十から三十試合の実戦経験を積むことを目標に実践してきた。その中で、強いつきも弱いつきも、試合

OBやOG、教員が入っても試合をしていただけるとは特別など

財産を活かす

現在部員は六名で練習試合を行える状況ではない中…



袴田羽(1年)



間瀬智(2年)

一番バッターとして出塁にこだわり、課題としていたリードと盗塁のスタートでは練習の成果を発揮…

四イニング目は志願しての登板。この意欲は、打撃も守りも全ての技術向上につながる…

もう一つは、試合が出来るために、現役部員では足りないところを補ってくださる方々の存在。今回は部員が三名となっても九人で戦うことが出来ている。田中先生をはじめ橘定の先生方の支援。そして、毎回同じではなく、その日に都合がつくOBやOG、時には家族が力をかしてくる。相手がいるだけでも試合は出来る、メンバーがいるだけで

も出来ない。その両方を可能に出来るからこそ、今、実践経験を積んでいることを忘れずに部活動を行っていたい。上手くなることも強くなることも目標だが、その目標に辿りつくためには環境が必要になる。その環境は与えられるものではなく、先輩達が残してくれてきたものに感謝の気持ちを



牧田風世(3年)

先日のアメフト体験で肩を痛めたため新入部員の牧田風世。この日は写真をとりながらベンチで野球の勉強。「走塁を学んだ」という言葉が、悲願の初ヒットは次戦に持ち越された…



田中先生

これまでも多くの試合で協力してくださってきた田中先生。この日も、先発投手の吉田リリーフの袴田のボールを10イニング受け続けてくれました。その疲労度はかなりのものだったと思います。ありがとうございました。今後よろしくお願ひします。



吉田侑生(2年)



袴田羽(1年)

高めの速いボールをレフト前ヒット！得点にはつながらなかったが初回にチャンスを広げる

変化球の精度を課題にねばり強い投球！打者との間合いや牽制にも投手としての意識が…

この日から、試合前に自分のこの日の課題や目標を全体の場で伝え合うことを始めた。これまでもそれぞれに課題を持ち、時にはこちらから与え、その部分を意識して取り組んできたが、互いに知ることで、その部員のプレーの意図や成長を共有できる。プレーによっては、カバーしたり助けたりすることも出来る。チームスポーツの大切な部分でもあり、続けていきたい…

課題を克服し次戦に活かす積み重ねが野球を楽しむことに…

実戦経験を積む11月

橘定スポーツ BaseBall

たけな

部員は九人に満たないが、OBやOG、顧問をはじめ橘定の先生方にも力をかりながら十一月は実戦経験を積み重ねが続き、力を試すのは楽しみでもあり大事な機会。その機会を自身の成長の場にできるかどうかは自分次第。野球の技術はもちろんだが、様々な試合状況の中で、自分の持ち味をどう発揮するか、仲間のために自分に何ができるのかを考え、実行しようとする姿勢を期待したい。その成長こそが、技術もチーム力も必ず高めることにつながる。代々の卒業部員がそのことを証明してくれている…。



右中間への適時二塁打！
投打でチームを牽引

試合だからこそ練習の成果も克服したい課題も明確になる

手忘えと課題

打席や塁上や守備位置で自身の中で課題に感じたら顧問や仲間と…

○ 1 試合目

日々輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橘 定	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 2 試合目

橘 定	6	1	0	1	8
日々輝	5	1	0	0	6 (時間切れ)

一試合目は、吉田侑生が初めて一試合アイニングを完投し、二けたの三振を奪う力強い投球を見せた。ピンチを迎えても、コーナーをつくキレのあるストレートで三振を奪う投球は、チームにとっても手応えを感じるものとなった。攻撃面では、間瀬智紘が、練習通りコンパクトにバットを振り抜き、鋭い打球のヒットを打ち、出塁することで走塁面での課題も見えるなど、試合だからこそ明確になるものが、間瀬だけでなく、それぞれの部員に見ることができた。

打席で、塁上で、守備位置で、それぞれ自分自身の中で課題に感じたものがたくさんあったと思う。一つずつ良いので、顧問や仲間の部員と確認しながら克服し、次戦に活かして欲しい。この積み重ねが野球を楽しむことに繋がり、楽しめれば必ず上手くなる…。

二試合目は、袴田羽が初先発、大石優希がリリーフで初登板。大石は引退したが、今のチームの中で袴田はこれからの投手の機会が続き、一投げることは、投手だけでなく、全てのポジションの練習にも必ずつながる…。

高校生との対戦は秋季県大会以来のこと。OBや顧問が入っても試合をしていただけに感謝している。この日は市営小田球場を四時間を確保することができ、ダブルヘッダーとなった。二試合目は時間切れとなったが、アイニングの実戦は、橘定の部員にとって、練習してきたことへの手応えを感じたり、課題を実感したり、貴重な機会となった。

11月11日(土)はクラーク記念国際高校OBチームとの練習試合を予定している。11時00分までに市営大師球場に集合。12時～14時までグラウンドを使用。
25日(土)は高津高校で公式行事の「技術講習会」となることは伝えてあるが、新たに23日(祝)12時～16時に、市営桜川球場でOB戦を予定している。



間瀬智紘主将(2年)



大石優希(4年)



牧田風世(3年)



袴田羽(1年)



吉田侑生(2年)

練習通りコンパクトに振り抜いたバットから、鋭い打球のヒットが生まれる

現役を引退した後も練習でも試合でも後輩を支え続ける

初先発したマウンド緊張の中の全力投球はこれからにつながる…

キレのある力強いストレートと制球力のある変化球で二けた奪三振7回を完封

人生初めての試合での初打席ファーストストライクをフルスイング

先輩の思いを受け継ぐ

あらためて感じたことが「前進」へ原動力に…

橘定スポーツ BaseBall

良き先輩後輩

見終わった後に「前進」への原動力となる思いが生まれてくることを期待

一年前の大石も同じだった…その前の年も同じような部員がいた

野球への取り組みと同じく
ナレーターでも全力を尽くす
袴田羽(一年)



マイクに向かってナレーションを録音

「前夜祭」での上映を終えた夜、ナレーターを務めた袴田羽から私のもとに、こんな言葉が届いた。
「お疲れ様です。始まる直前になって不安になり始めたのですが、終わった後に褒め言葉が多く、嬉しかったです。この映像を見て、やっぱり大石先輩の気持ちも背負っていかないと、ということを感じたので頑張ります。」

記録映画「俺たちの高校野球11」のナレーターを務めた袴田羽にとって前夜祭での上映は、楽しみと言うよりも最後まで緊張しながらの視聴になったかもしれない。他の部員と同じような気もちで視ることができないのは当然のこと…。でも、他の部員とは違った視点や気もちでこの映画を見ることができたのも確かなことだと思ふ。

映画の中のナレーションは単なる説明ではなく、私や林先生、それぞれの部員達が皆に伝えたい思いを代弁してもらっているものであり、それぞれの成長に気づいてもらえるきっかけにもなっている…。

野球部員と他の人たちの見方や感じ方ももちろん違ってくる。前号でも書いたように、毎年制作してきたこのシリーズは、決して思い出しにくい残してきたわけではない。見終わった後に、部員にしか感じることができないこと、理解できないことがある。そして、私は、そこに「前進」への原動力となる思いが生まれてくることを期待している。ナレーターを務めた袴田は、先輩の思いも背負って戦つていく決意を「前進」へのエネルギーにしてしまっている。一年前の大石も同じだった。その前の年も同じような部員がいた。橘定野球部が変わらぬ姿勢の部であり続けているのは、良き先輩達を敬う良き後輩達がいるからに他ならない…。

過去にOBの大野希海だけが越えたフェンスの更に奥のフェンスを越える場外弾をはじめ数本の柵越え!



吉田侑生(2年)

林先生のアドバイスをもとにつかみかけている打撃フォームとコンパクトなレベルスウィングで初の柵越え!



間瀬智紘(2年)

林・田中の教員バッテリーとの真剣勝負で快心のレフト前ヒットを放つ!



袴田羽(1年)

初めてピッチャーの球を打つ!懸命にスウィングするものその難しさを実感…また始まったばかり!



牧田風世(3年)

努力の末に安打製造器に成長!力強いライナー性の打球を連発!



大石優希(4年)

文化祭代休の三十日月曜日
等々力軟式野球場で打ち込む

明日11月3日(祝)は日々輝学園高校横浜校との練習試合。11時00分までに市営小田球場に集合。

登戸駅	10:06
宿河原駅	10:07
武蔵溝ノ口駅	10:13
鹿島田駅	10:27
尻手駅	10:30
〈乗り換え〉	10:33
小田栄駅着	10:38
グラウンド外でアップし、12時からグラウンド内。両チーム準備でき次第、試合開始予定。	